

J:COMグループは、地域密着型企业の特性を踏まえ、日々接する地域やお客さまを大切にするとともに、社会貢献活動に注力しています。またメディアという公共的な要素を持つことを意識し、放送事業者としての責任を果たしています。

社会にやさしく

J:COMグループは日々の事業の中で、また地域の皆さまとともに、グループ全体でさまざまなCSR活動を展開し、社会にやさしい企業を目指しています。

地域でお客さまとともに

ニコロジー活動

J:COMグループは、人に、街に、環境に笑顔を届けることを目的とし、企業として、放送事業者として、また地域サービス事業者として、J:COMならではのCSR活動「J:COMニコロジー活動」を積極的に展開しています。

また、9月をニコロジー活動の強化月間「J:COMニコロジー月間」と定め、さまざまな活動に取り組んでいます。2009年は「地域で家族で身近にできるエコ活動」をテーマに、各チャンネルにて環境に関連する番組を編成し放送するとともに、テーマに関連するイベントを開催しました。

いきいきプロジェクト

いきいきプロジェクトはJ:COMグループが2006年5月から展開する地域活性化プロジェクトです。自分の住む地域での充実した楽しい毎日を応援するため、地域の中で自分のスキルを活用する場を求め、地元でのネットワークづくりの機会を求め方を主な対象に、J:COMは各地でさまざまな場を提供しています。活躍の場は、人気のパソコン教室やカルチャー教室、ウォーキングまで多岐にわたり、その運営には各地域で登録された「コミュニティ担当」が核になっています。2009年は全国合計で約640人のコミュニティ担当のもと、約860回のイベントを開催し、のべ約9,400人がいきいきプロジェクトに参加しました。

放送事業者として

J:COMグループは全国48のケーブルテレビ局を通じ、約850万世帯に情報をお届けしています。「J:COMチャンネル（コミュニティチャンネル）」では、自治体や地域の公共団体と連携し市町村からのお知らせをお届けしたり、また地域に根差した放送事業者として地元情報をお届けすることにより、地域内のコミュニケーションを活性化させています。

* J:COMチャンネル視聴可能世帯数

募金オンデマンド

J:COMグループは双方向サービスの機能を利用し、テレビリモコンひとつで募金できるサービス「募金オンデマンド」をご提供しています。お客さまに映像をご購入いただき、その収益が寄付先に送られる仕組みです。日本ユニセフ協会への常設募金のほか、災害が発生した際に実施する「災害支援募金」のような期間を限定した募金の2種類があります。2009年は台風9号で被災した山口県、福岡県、岡山県、兵庫県に対し、日本赤十字社を通じて義援金をお送りしたり、9月のニコロジー月間中には「ニコロジー募金」として緑の募金への寄付を募りました。



ニコロジー活動



いきいきプロジェクト



ニコロジー募金

地域サービス事業者として

J:COMグループは全国48のケーブルテレビ局で約2,400人の営業員が日々地域をまわり、お客さま宅のサービスの不具合を調整したり、弊社へのご要望を伺っています。営業員をはじめとするJ:COMグループの社員の一人ひとりが、日々地域の顔としてお客さまの期待に応えられるように心がけています。

防犯パトロール

日々地域をまわるJ:COMグループの営業員や工事担当者の車両には、「防犯パトロール」ステッカーが貼られています。これは日々の業務の傍ら防犯の意識を持ち、地域をよりよくしたい思いで実施しています。またJ:COMチャンネルでは各地域の警察と連携し、各地域での防犯のお知らせや防犯情報をお届けしています。

清掃活動

J:COMグループは地域の清掃活動を定期的に行っています。また2008年からは年に一度、北海道から福岡までの全てのエリアで同じ日に一斉に清掃活動を実施するCLEAN UP OUR TOWNを実施しています。2009年は9月6日(日曜日)に、J:COMグループの社員と地域のお客さまの合計約1万2,000人が全国62ヶ所の会場で清掃活動に参加し、合計約9.1トンのごみを回収しました。

環境にやさしく

J:COMグループは日々の事業の中で、また地域でお客さまと一緒に環境にやさしい企業を目指しています。小さいことをひとつひとつ積み重ねています。

使用済み機器の適正な処理

J:COMグループで使用している耐用年数が過ぎた機器は、資源の有効活用を推進するため、リサイクル処理がなされています。2009年には、約29万台のホームターミナル、約24万台のインターネットモデムがリサイクル処理されました。お客さま宅から回収されたホームターミナルやインターネットモデムは工場場で解体し、鉄やプラスチックなど素材ごとに分別され、再生資源として生まれ変わっています。

またJ:COMサービスをお客さまにお届けするネットワーク幹線も、数年ごとに張り替えられますが、その際に発生する大量の古い銅線も適正に処理がなされています。

CO₂排出量の削減

J:COMグループでは低排出型の車両を順次導入し、CO₂排出量の削減に努めています。

営業員が日々使用する車両は軽自動車の一部をバイクに、バイクの一部を自転車に切り替えを進めており、全国で250台を越す自転車が利用されています。また自社で管理する工事車両は、順次クリーンディーゼル車への切り替えを進めてまいります。

J:COM グリーンカーテン

J:COMグループではグリーンカーテンの栽培を提案しています。グリーンカーテンとは窓際でつる性の植物を育て、自然の日よけとして使う活動です。

2009年には全国のジェイコムショップ・局舎にて、また営業員の手により合計5万袋のゴーヤの種をお客さまや地域の方々に配布してきました。J:COMグループはこの活動を通じ、夏季の冷房の使用を削減したり、身近なところでできる省エネ対策を呼びかけています。



防犯パトロール



清掃活動



リサイクル
機器を解体、基板を取り出して分解し、
素材ごと元の原材料にもどします



自転車



バイク



グリーンカーテン

